

鹿児島市オールロケ

天文館とは

南九州一の繁華街。
江戸時代に西洋文化を進んで取り入れた島津重豪公が1779年に天文観測や暦の作成などを行う施設「明時館（別名天文館）」を建てたことが名前の由来となっています。

天文館 探偵物語

天文館まち巡りガイド

コチラのサイトから
チェック!



鹿児島市公式アプリ「わくわく」では、デジタルスタンプラリーを開催中！
達成者の中から、抽選でオリジナルグッズなどをプレゼントします。

あらすじ

天文館のバーで働きながら街の人たちの困りごとに日々探偵として紛争する主人公たちが、訳ありのシングルマザーに手を差し伸べたことをきっかけに、天文館の再開発問題に巻き込まれていく。無謀と知りながらも街を想い、人との絆を大切にしていこう姿を描く探偵たちの物語。



天文館探偵物語 公式サイト
©2025「天文館探偵物語」製作委員会



A. 金生通り

市電を自転車で追いかけるシーンで登場
中央に映画にも登場する市電が走り、地元百貨店をはじめ様々なお店が立ち並ぶエリア。

B. グルメ通り

主人公のアクションシーンで登場
鹿児島名物が味わえる様々なお店が集い、裏路地の雰囲気味わえるグルメスポット。

C. ぴらもーる

物語の中心となるエリアとして登場
約100店舗が軒を連ね、幅広い年代に愛される活気あるエリア。夜に3人が並んで歩くシーンも。



D. 納屋通り

冒頭のお祭りシーンで登場
魚問屋の歴史を受け継ぎ、老舗から新しい店まで多彩な店が集うにぎわいエリア。



E. ベルク広場・中町ベルク通り

演説シーンや、対峙のシーンで登場
ショッピングを目的に毎日たくさんの人々にぎわう情報発信の中心地。



足跡を探す旅にしよう。



天文館 探偵物語

鹿児島・天文館ロケ地めぐり

少し足をのぼして・・・



天文館でグルメを探そう。



鹿児島市電 (路面電車)

逃走するシーンで登場
約100年の歴史をもつ路面電車で、観光客を含め多くの方に親しまれている。

しおかぜ通り (鹿児島市本港新町)

主人公が自分を見つめ直すシーンで登場
潮風に吹かれながら桜島フェリーが行き交う様子をのんびり眺めることができる遊歩道。

撮影隊も舌鼓を打った、天文館のグルメをチェック!

詳しいお店は二次元コードから

